

今日こそ絶対に

御津南部小・5 中西 彩七

私は泳ぐことが苦手
いつも心の中で思っている

「今日こそ絶対に成功してみせる」
と思うけれど いつも泳げない

プールの時間になって泳ぎ始める

周りの友達は二十五メートル泳げている

泳げない私は少し恥ずかしい

泳げないことは何も悪くはない

それは分かっている

自分の番が来た

プールに入る

友達が

「頑張れ。」

と応援してくれた

少しやる気が出てくる

ビート板をにぎって泳ぎ始める

最初の目標五メートルはクリア

十メートルを過ぎたくらいに息つきができな

くなる

「なんでだろう。」

私は心の中で思った

「なんでだろう、なんで泳げないのかな。」

学校が終わって お母さんにそのことを話した

お母さんは

「息つきをする時にしっかり顔が上がって
いないんじゃない。」

と言った

でも 私は

「顔は上がっているよ。」

と答えた

「じゃあ、顔を上げようとして手に力が入り
すぎたんじゃない。」

確かに顔を上げるとき ビート板が少し水の中に入っていた気がした

次の日 プールの授業で確かめてみた

お母さんが言ったことは正しかった

何回もチャレンジして ようやくできた

だけど十一メートルくらいしか泳げなかった

だけど前より記録が伸びてうれしかった

二十五メートルチャレンジの日

私は心の中で

「できるかな。だいじょうぶかな。」

と不安しかなかった

友達が応援してくれる

壁を思いつきりけて泳いだ

記録は十五メートルに近かった

少しだったけれど記録が伸びたことが嬉しかった

私はプールが少し好きになった

これからも苦手なことにもあきらめず頑張ろうと思った